

楽じゃないけど 楽しい道を

**Everything
is practice.**

「全ては、練習だ」

公立高校特集 その4

<定時制課程>

「働きながら学びたい人」「学びながら働きたい人」のために設置されています。夜間定時制と昼間定時制の2種類があります。全日制と同じ学習内容で、卒業すれば高等学校卒業の資格が得られます。さらに勉強を続けたければ、大学への進学も可能です。教科や特別活動、行事、クラブ活動等も全日制と同じ内容です。ただし、公立の定時制のほとんどが夜間定時制で、修業年限は原則4年間です。履修のしかたによって3年間で卒業できる高校もあります。就職も考えている人は、できるだけ職場の近くの高校を選ぶことが必要な場合があります。すべての職場が通学を許可するとは限りません。職場を選択するときには、先生や職業安定所と相談して選ぶことが大切です。入学することより4年間続けて職場や学校に通うことが大切です。

(1) 学年制（京都市内の定時制高校）

普通科（鳥羽高校＝夜間定時制） （府立清明高校＝午前・午後コース3年制の昼間定時制）

(2) 単位制（京都市内の定時制高校＝すべて夜間定時制）

普通科（朱雀高校、桃山高校） 商業科（桃山高校） 京都奏和高校＊西京高校定時制と伏見工業定時制が統合

<通信制課程>

毎日通学することが困難な人のために設置されています。レポートの提出や面接指導、テストにより単位が認定される課程です。京都市内には朱雀高校に、府下には西舞鶴高校にそれぞれ単位制による普通科の通信制課程が設置されています。原則として4年間で卒業できます。

<総合支援学校について>

京都市立総合支援学校高等部には、普通科と職業学科が設置されています。

普通科は呉竹・鳴滝（疾患等の条件あり）・東・西・北の5総合支援学校に設置してあります。学校見学会が7月に2回開催されます。

職業学科は学校説明会やオープンキャンパスに参加し、11月下旬の入学相談を受けることが必要です。白河総合支援学校に産業総合科、鳴滝総合支援学校に生活産業科、東山総合支援学校に地域総合科があり、一般学級の卒業者も志願できます。

<国立高等専門学校（高専）について>

高等専門学校とは、科学技術の開発向上、中級技術者の養成を目的として設けられた5年制の課程の学校です。工業に関する学校と商船に関する学校があり、ほとんどが国立です。卒業後は就職する他、4年制大学の3年生へ編入する制度もあります。国立舞鶴工業高等専門学校（機械工学科、電子情報工学科、電気制御工業科、建設システム工学科）、明石工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、富山商船高等専門学校などがあります。

<公立高校に関して>

- ・京都府公立高校紹介サイト「まるとスクールWeb」

<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-be/kyoto-public-hs/>

- ・京都府教育庁指導部高校教育課

http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/?page_id=246

- ・京都市立高等学校最新情報サイト

<http://www.kyotocity-hs.jp/>

<私立高校に関して>

- ・京都府私立中学高等学校連合会

<https://www.kyotoshigaku.gr.jp/>

日本語を母語としない生徒や保護者のための 多言語進路ガイダンス

「中学校を卒業したら、どんな進路がありますか?」「日本にはどんな高校がありますか?」

そんな疑問がある日本語を母語としない生徒や保護者のために、ガイダンス(説明会と相談会)と生徒交流会をしますので、ぜひ参加してください。

今回は、オンラインです。(ZOOMを使います)

	保護者説明会・質問会	中学生と先輩生徒の交流会
にちじ日時	8月4日(水) 10:00~11:30	8月5日(木) 10:00~11:45
ないよう内容	①中学校卒業後の進路(高校進学)などについての説明 ②質問会 ※希望の言語の通訳を手配します。 通訳が見つからない場合もあります。	①外国にルーツをもつ先輩の体験談 ②先輩、他校生徒との交流会
もうしこめる人	中学校1・2・3年生の保護者	中学校1・2・3年生
さんかほうほう参加方法	どちらもオンライン(ZOOMを使います。) ※家からZOOMに参加できない人は、「参加申込書」で知らせてください。	

○参加費 無料

○申込方法 「参加申込書」を書きます。中学校に出します。

※京都市教育委員会に、FAXかE-mailで送ってもいいです。

○しめきり 7月16日(金)

○問い合わせ先 京都市教育委員会学校指導課人権教育担当

Tel: 075-222-3815 FAX: 075-231-3117

E-mail: ds045-oosuga@edu.city.kyoto.jp

主 催 京都市教育委員会

後 援 京都市教育委員会、(公財)京都府国際センター、(公財)京都市国際交流協会

日本語を母語としない生徒や保護者のためのガイダンスです。参加希望者は、七月十六日までに、担任の先生に連絡してください。